

## 1、ニーズ調査アンケート

「読谷村生涯学習に関する村民意識調査及び読谷村の生涯学習を語る懇談会の報告」H16.3  
前回開会時の調査から抜粋による Google フォームによるアンケートを行う

### ①方法 Web と紙アンケート

\*紙は公民館 24 × 10 枚⇒集計は上原が行いますエクセルデータで提出します。

\*Web もエクセルで提出します。

### ②目標件数 1000 件

### ③実施期間 8月2週間 集約9月

### ④質問項目

- ・基本データ (性別、年代、居住地、行政区加入)

\*コロナで状況が変化していることを見越し、ここ5年間?・コロナ前?とかも挿入する

#### 質問項目 8項目

- ・読谷村の各種行事に参加したことがありますか? 答えイ〜ソ
- ・あなたはどんな時に生きがいを感じますか? 回答イ〜ヌ
- ・あなたは生涯学習という言葉聞いたことはありますか? 回答ある Or ない
- ・あなたは今後、学習するとすればどのような方法で学習したいですか 3個選択  
回答イ〜レ \*追加で、オンライン、映像配信
- ・あなたは地域活動に携わったことがありますか? 回答 ある Or ない
- ・上記の内容 複数回答○ 回答イ〜ト
- ・今後学習活動を進めていくうえであなたはどのようなことを要望しますか? 2選択  
回答イ〜ト
- ・パソコン利用状況についてお尋ねいたします。 複数回答 回答イ〜ト  
\*追加でスマホ、タブレットも入れる
- ・余力で自由記述設けるか?

↓↓  
考察も入リスト方向に合わせたい!

## 2、社会教育関係団体ワークショップ

社会教育委員の年間活動計画として行う。社会教育委員 5 名を担当制にして各団体との  
意見交換確認作業を行い最終全体のまとめとする

### ①方法 別紙

②まとめ方 別紙 →社会教育委員の意見書

③データ提出 まとめたものをデータで提出する。

### 3、イン・アリーダーワークショップ

夏休み期間からの研修として行う。本来なら、岐阜県白川村との交流があるが、コロナで3年行き来する交流が行われておらず、今年度県内交流（民泊）を計画する。

①方法 計画書別紙

② 8月民泊交流に行く前に、「読谷村自慢」をまとめる。そこで読谷村の良いところ、直したほうが良いところを話し合いして、発表資料をまとめる

### イン・ジュニアリーダー研修計画

	内容/講師	日時・曜日・場所
1	自己紹介 ・オリエンテーション 読谷村が目指すこと 講師：企画政策課職員 話し合い学びのテーマ・役割を決める	8月3日（水）13：00～ 15：00 文化センター-講座室
2	テーマ学習 *伊江島民泊交流に よみたんPR 作戦 「読谷自慢」 講師無し	8月17日（水）13：00～ 15：00  村立図書館
3	発表の練習&おまけお楽しみ講座「プログラミング」 プログラミング 13：00～講師：ソフトバンク 発表 14：30～ 講師無し	8月20日（土）13：00～ 15：00 文化センター
4	伊江島民泊交流体験 団員の親睦、民泊体験、調べ学習*費用負担個人徴収あり *村民WSと連動する	8月25日（木）26（金） *宿泊研修

その後、9月以降も月1回の研修を行います。

9月10日の2回でワークショップ「未来予想図」を作成します。テーマを環境や防災に絞り、読谷村の未来を自分達なりに将来の「こうあったらいいな～」を言葉に表す

③データ提出 まとめたものをデータで提出します。

3:4-1

**読谷村生涯学習に関する村民意識調査及び  
読谷村の生涯学習を語る懇談会の報告書**

平成16年3月

読谷村教育委員会



182分

## 読谷村生涯学習に関する村民意識アンケート調査

問1 該当するものに○をして下さい。

- イ、性別 1、男 2、女
- ロ、年齢 1、20～29歳 2、30～39歳 3、40～49歳  
4、50～59歳 5、60～69歳 6、70歳以上
- ハ、家族構成 ( ) 人家族 (本人含む)
- ニ、職業 1、会社員 2、自営業 3、公務員 4、農業・漁業  
5、軍雇用員 6、団体職員 7、パートタイマー 8、家事  
9、学生 10、その他 ( )
- ホ、居住地 (字 \_\_\_\_\_)

問2 あなたは読谷村に住んで何年になりますか。

- イ、5年未満    ロ、5～10年未満    ハ、10～15年未満    ニ、15年以上

問3 あなたは行政区に加入していますか。

- イ、加入している    ロ、加入していない

問4 読谷村の各種行事に参加したことがありますか。参加した行事に○をつけて下さい。  
(複数選択可)

- イ、まなびフェスタ読谷
- ロ、生涯学習課が主催する各学級講座
- ハ、生涯学習課が主催する各スポーツ教室
- ニ、ふれあい交流館が主催する各種講座
- ホ、青少年健全育成大会や村民大会
- ヘ、青年会が主催する行事
- ト、婦人会が主催する行事
- チ、老人会が主催する行事
- リ、PTAが主催する行事
- ヌ、子ども会が主催する行事
- ル、各字公民館が主催する行事
- ヲ、福祉協議会が主催する行事
- ワ、商工会・漁協・農協が主催する行事
- カ、よみたんまつり
- ヨ、読体協が主催する各スポーツ大会
- タ、図書館が主催する行事
- レ、文化協会が主催する行事
- ソ、その他 ( )

問5 読谷村に所在する次の施設を学習や文化活動・スポーツ活動・体力づくりに利用及び参加したことがありますか。利用した施設に○をつけて下さい。(複数選択可)

- |                |               |             |
|----------------|---------------|-------------|
| イ、読谷村役場庁舎      | チ、各字公民館       | カ、座喜味城跡公園   |
| ロ、ふれあい交流館      | リ、平和の森球場      | ヨ、泊城公園(渡具知) |
| ハ、鳳ホール         | ヌ、勤労者体育センター   | タ、街区(児童)公園  |
| ニ、福祉センター       | ル、運動広場・多目的広場  | レ、陶芸研修所     |
| ホ、歴史民俗資料館・美術館  | ヲ、学校(体育館・プール) | ソ、ゴルフ場      |
| ヘ、読谷村立図書館      | ワ、テニスコート      | シ、その他( )    |
| ト、残波岬いこいの広場・公園 |               |             |

問6 本村では、次の広報誌を各家庭にお届けしておりますが、購読状況を教えてください。

- |           |           |            |
|-----------|-----------|------------|
| イ、広報よみたん  |           |            |
| 1、よく読んでいる | 2、時々読んでいる | 3、ほとんど読まない |
| ロ、議会だより   |           |            |
| 1、よく読んでいる | 2、時々読んでいる | 3、ほとんど読まない |
| ハ、社協だより   |           |            |
| 1、よく読んでいる | 2、時々読んでいる | 3、ほとんど読まない |
| ニ、あやとり    |           |            |
| 1、よく読んでいる | 2、時々読んでいる | 3、ほとんど読まない |

問7 あなたは、どんな時に生きがいを感じますか。3つ選んで○をつけて下さい。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| イ、仕事に専念しているとき      | ヘ、家族団らんのとき         |
| ロ、家事に専念しているとき      | ト、友人と雑談しているとき      |
| ハ、ゆったりと休養しているとき    | チ、地域活動に参加しているとき    |
| ニ、教養のための学習をしているとき  | リ、他人から干渉されず一人であるとき |
| ホ、趣味やスポーツに熱中しているとき | ヌ、その他( )           |

問8 あなたは、どのような生活を大切にしたいと考えていますか。

3つ選んで○をつけて下さい。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| イ、趣味や習い事を楽しむ生活     | ヘ、スポーツを楽しむ生活     |
| ロ、専門的なことを学習・調査する生活 | ト、地域活動を大切にしている生活 |
| ハ、仕事に専念する生活        | チ、ボランティア活動をする生活  |
| ニ、家族を優先にする生活       | リ、その他( )         |
| ホ、仲間の付き合いを楽しむ生活    |                  |

問9

あなたは、老後をどのように過ごしたいと考えていますか。  
3つ選んで○をつけて下さい。

- イ、お金に困らない生活
- ロ、病気しない健康な生活
- ハ、子や孫と一緒に暮らす生活
- ニ、趣味や教養を高める生活
- ホ、サークル活動に参加する生活
- ヘ、若い世代に自分の知識や技能を教える
- ト、地域で奉仕活動・役員活動をしたい
- チ、定年後も仕事を続けたい
- リ、伝統文化を学びたい
- ヌ、その他 ( )

問10

あなたは、生涯学習という言葉を知っていますか。

- イ、ある
- ロ、ない

問11 生涯学習とは、何を学ぶことだと考えますか。1つ選んで○をつけて下さい。

- イ、学校で学ばなかったことを大人になってから学習すること
- ロ、自分の教養を高めるために、いろいろなことを学習すること
- ハ、社会の情報に乗りおくれなために、世の中の出来事を学習すること
- ニ、自分の人生を楽しく過ごすために学習すること
- ホ、よくわからない

問12 あなたは現在、学習や文化活動、スポーツ活動を行っていますか。

- イ、している (問13, 14, 15, 16, 18, 19, 21へお進み下さい。)
- ロ、していない (問20, 21へお進み下さい。)

問13 問12で「している」に○をつけた方にお尋ねします。あなたが学習や文化活動、スポーツ活動を行う目的はなんですか、該当するものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- イ、職業に必要な知識、技能、資格を得るため
- ロ、家庭生活に必要な知識、技術を高めるため
- ハ、生活に潤いと緊張感を保つため
- ニ、健康の維持増進を図るため
- ホ、多くの友人をつくるため
- ヘ、自己啓発のため
- ト、社会の変化におくれなために
- チ、地域活動に寄与するため
- リ、その他 ( )

問14 問12で「している」に○をつけた方にお尋ねします。あなたがこれまで行った学習や文化活動、スポーツ活動は、次のどれに該当するか該当するものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- イ、趣味に関すること(茶道、絵画、書道、三線、ヤチムン、ギター、ダンス、琉舞など)
- ロ、教養に関すること(英会話、話し方、歴史ロマン、マナーなど)
- ハ、自己啓発に関すること(大北・比謝川大学、講演会、パソコンなど)
- ニ、家庭生活に関すること(和裁、料理、手芸など)
- ホ、健康、体力作りに関すること(ウォーキング、水泳、アクアビクスなど)
- ヘ、育児や子どもの教育に関すること(子育て支援、子ども体験、親子体験など)
- ト、スポーツ活動に関すること(テニス、ソフトボール、野球、サッカー、バレー、陸上)
- チ、その他( )

問15 あなたが、この一年間に行った学習や文化活動、スポーツ活動の内容を具体的に記入して下さい。(複数記入可)

- イ、( )      ロ、( )      ハ、( )
- ニ、( )      ホ、( )      ヘ、( )

問16 問12で「している」に○をつけた方にお尋ねします。学習を始める動機はなんですか。複数えらんで○をつけて下さい。

- イ、仕事や生活上、必要だから      ホ、生活にゆとりができたから
- ロ、友人や家族に進められたから      ヘ、退職して自分の時間がつくれたから
- ハ、以前から興味があったから      ト、子どもが成長し、自分の時間がつくれたから
- ニ、多くの人と知り合いたいから      チ、その他( )

問17 各教室・講座の募集を知ったのは、次のどれですか。複数えらんで○をつけて下さい。

- イ、広報よみたん      ハ、横断幕・立看板      ホ、知人や仲間から
- ロ、広報マイク      ニ、チラシ、ポスター      ヘ、その他( )

問18 問12で「している」に○をつけた方にお尋ねします。学習や文化活動、スポーツ活動に月いくらのお金を使いますか。

- イ、1,000円未満      ホ、10,000～20,000円未満
- ロ、1,000～3,000円未満      ヘ、20,000～30,000円未満
- ハ、3,000～5,000円未満      ト、30,000円以上
- ニ、5,000～10,000円未満

問19 問12で「している」に○をつけた方にお尋ねします。学習や文化活動、スポーツ活動に参加してどのような効果がありましたか。該当するものに○をつけて下さい。  
(複数選択可)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| イ、知識、技術が習得でき仕事に役立った | ホ、資格を得ることができた     |
| ロ、生活設計が充実してきた       | ヘ、地域活動に参加することができた |
| ハ、学習する喜びが深まった       | ト、新しい知人ができ交際が広まった |
| ニ、仕事以外の生きがいが見つかった   | チ、特に得るものはなかった     |
|                     | リ、その他 ( )         |

問20 問12で「していない」に○をつけた方にお尋ねします。あなたが学習や文化活動、スポーツ活動をしない理由はなんですか、複数えらんで○をつけて下さい。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| イ、仕事で時間がとれない      | ヘ、どんな学習や活動があるかわからない |
| ロ、家事、育児のため時間がとれない | ト、希望する講師や指導者がいない    |
| ハ、一緒に行く友達がいない     | チ、希望する学習や活動がない      |
| ニ、お金がかかるから        | リ、学習する必要を感じない       |
| ホ、家族の理解や協力が得られない  | ヌ、その他 ( )           |

問21 問12で「している」「していない」に関わらずあなたが今後、学習活動をするとしたらどのようなことをやってみたいですか。  
該当するものを ( ) の中から複数えらんで○をつけて下さい。

- イ、趣味に関すること (茶道、絵画、書道、三線、ヤチムン、ギター、ダンス、琉舞など)
- ロ、教養に関すること (英会話、話し方、歴史ロマン、マナーなど)
- ハ、自己啓発に関すること (大北・比謝川大学、講演会、パソコンなど)
- ニ、家庭生活に関すること (和裁、料理、手芸など)
- ホ、健康、体力作りに関すること (ウォーキング、水泳、アクアビクスなど)
- ヘ、育児や子どもの教育に関すること (子育て支援、子ども体験、親子体験など)
- チ、スポーツ活動に関すること (テニス、ソフトボール、野球、サッカー、バレー、陸上)
- リ、その他 (上記にない講座を記入: )





問27 問23で「ない」に○をつけた方にお尋ねします。その理由はなんですか。該当するものに○をつけて下さい。

- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| イ、時間がない     | ニ、健康上問題がある  | ト、面倒である    |
| ロ、地域の人を知らない | ホ、仕事がいそがしい  | チ、職場の理解がない |
| ハ、指導する能力がない | ヘ、趣味等でいそがしい |            |

問28 あなたは、これまで次の団体の役員、会員として関わったことがありますか。該当するものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- |       |        |          |           |
|-------|--------|----------|-----------|
| イ、青年会 | ニ、子ども会 | ト、民生児童委員 | ヌ、交通安全母の会 |
| ロ、婦人会 | ホ、PTA  | チ、青少年指導員 | ル、赤十字奉仕団  |
| ハ、老人会 | ヘ、字公民館 | リ、人権擁護委員 | ヲ、( )     |

問29 あなたは、一週間を単位として自分のために自由に使える時間はどれくらいですか。

- イ、平日の時： \_\_\_\_\_ 時間      ロ、休日の時： \_\_\_\_\_ 時間

問30 あなたは、自由時間をどう過ごしていますか。具体的に記入して下さい。(時間の多い順に3つ記入して下さい。)

- イ、( )      ロ、( )      ハ、( )

問31 今後、学習活動を進めていくうえで、あなたはどのようなことを要望しますか。2つ選んで○をつけて下さい。

- イ、指導者の育成・紹介に力をいれてほしい
- ロ、学習するに必要な情報提供に力を入れてほしい
- ハ、団体やグループの育成に力をいれてほしい
- ニ、親子で学習できる機会を増やしてほしい
- ホ、学習できる施設の整備に力をいれてほしい(具体的に \_\_\_\_\_)
- ヘ、近くの公民館を利用した学習に力をいれてほしい
- ト、多くの人が学習できる時間や曜日に開催するよう務めてほしい

問32

パソコンの利用状況等について、お尋ね致します。  
該当するものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- イ、パソコンを使用したことがある。
- ロ、自分のパソコンを持っている
- ハ、家族にパソコンを持っている人がいる
- ニ、自宅でインターネットを利用している
- ホ、読谷村役場が開設しているホームページを見たことがある
- ヘ、自分のホームページを開設している
- ト、今後、パソコンを習いたい

2-①

令和4年度読谷村社会教育委員年間活動計画 (案)

	内容	備考
4月		3月から事務局整理
5月	□社会教育委員会議 (5/19) 委嘱状交付 (議長及び副議長選出) 年間計画 その他	↓
6月	□社会教育関係合同研修会 (6/16) 社会教育団体ができること～地域学校協働推進事業にどうかかわるか～	
7月	□社会教育関係団体合同ミーティング (7/28)	
8月	生涯学習ワークショップ (小学校区開催) への参加	↓
9月		
10月	□社会教育委員会議 (10/20) 上半期進捗確認 ◎社会教育研究大会 (全国大会) □社会教育関係団体合同ミーティン (10/20)	*まとめ作業 ↓
11月	□社会教育関係合同研修会 (11/16) 社会教育団体活動のこれから	↓
12月	◎社会教育研究大会 (九州大会)	↓ ✕
1月	□答申まとめにおける会議 (予定) 免職	
2月	まなびフェスタ読谷 2023 2/4.5	
3月	□社会教育委員会議 (3/16) 年度総括	

\*沖縄県及び中頭社会教育委員研修会

■社会教育関係団体担当割当

学校・自治会	PTA 連合会	婦人会	子ども会	青年会
我如古清秀	比嘉朝克	新垣より子	比嘉恵子	大城誠二

21-②

読谷村教育委員会  
教育長 比嘉隆殿



読谷村社会教育委員会議 第1号  
平成21年 3月17日

読谷村社会教育委員会議  
議長 宮平哲雄

### 読谷村社会教育関係団体の現状と課題について（答申）

平成20年4月22日付け読教生第36号で諮問のあったみだしのことについては、下記のとおりお答えします。

#### 記

#### 1. 読谷村子ども育成連絡協議会

##### (1) 現状

- ・現在、村内には23ヶ字中16の地域で子ども育成会がある。
- ・年々会員数が減少し活動費の捻出に苦慮している。
- ・役員のみ手が少なく、同じ人が何年も続く状況となっている。現会長と事務局は長年読子連をリードしている。
- ・ジュニアリーダーが育成されている。

##### (2) 活動（課題）について

- ・年間事業が固定化しており、活動内容の検討は今後の課題と考える。
- ・執行役員に空席があり、役員体制の確立は急務である。
- ・読子連に入会しない地域子ども会があり、加わらない地域の子どもの育成会役員と入会可能な環境づくりの意見交換が必要ではないか。
- ・交流事業が定刻どおり始められない、交流事業の資料がないなど、あと一步の感がある。読子連の役員と教育委員会の関係者との意見交換も必要ではないか。

#### 2. 読谷村PTA連合会

##### (1) 現状

- ・読P連は小学校5校、中学校2校、全保護者が会員であり平成20年度の生徒数は4,106人である。
- ・活動費は全保護者、教職員から徴収しており、安定した活動ができる状態にある。
- ・平成17年度からは、従来の三役会、理事会の他に会長会を毎月持ち、各単Pの情報連携を強化している。
- ・2～3年前から食育に取り組み「早寝、早起き、朝ごはん」の啓蒙活動が定着してきている。
- ・各小学校（5校）で「まつり」を開催しPTAの連帯も深くなってきた。
- ・各単Pの動きも活発である。

## (2) 課題について

- ・各単Pも役員のみ手が少ない。(6年間継続している単Pもある)
- ・役員選出は輪番制、副会長の位置づけの工夫等“知恵”を出しあって役員選出の環境整備に取り組んでいる先例を参考にして選出していく。
- ・「食育」活動は役場の健康増進課との連携、教委との連携の強化を推進する。
- ・年度末の決算は数字合わせの他に、予算の望ましい組み方、繰越金の見直しなども可能な監査員を育てる学習会をもつ必要がある。

## 3, 読谷村婦人会

### (1) 現状

- ・大正3年(1914)誕生、読谷村は沖縄における村婦人会発祥の地である。
- ・23ヶ字中17字で組織されており、会員数1,007名である。
- ・会費一人1,000円徴収し、村役場より1,181,000円の補助金がある。
- ・役員は執行部四役、理事(7名)、評議員(5名)、代議員(17名)である。
- ・専門部が置かれ執行部と連携し役割分担して事業を推進している。  
総務部(会議)、文化部(主張大会・文化講座)、広報部(読婦だより発行、スポーツデーの年は年2回、演芸のつどいの年は年3回発行)、保健レク部(演芸のつどい、スポーツデー1年おき)、生活部(花卉講習・美化コンクール・QL運動・視察研修)。
- ・「読婦だより」の縮刷版を10年毎に発行している。
- ・年度はじめの各字の三役が集まったリーダー研修会は充実している。
- ・年度途中に開かれる中間報告会は会活動の重要なチェックになっている。
- ・会議の出席状況が良好である。
- ・会員が減少している。
- ・会の主催事業の他に、役員は他団体の事業にも参加し多忙の中よくこなしている。
- ・毎年の事業の反省は次年度に申し送りをし、それを基に活動をしている。

### (2) 課題と対策

- ・いかに各字の会員減を止め、村婦人会の会員増を図るかは最大の課題。
- ・楽しい情報を伝えて婦人会未結成字への勧誘を継続する。(親志、牧原、横田、大添)
- ・役員選出がスムーズにいかない。
- ・改めたい事業
  - \*38回も続いた美化コンクール(花卉講習会)は見直す時期にきた。
  - \*多くの協力事業への参加か否かは文書で判断し、参加の際は副会長で対応する。

## 4, 読谷村青年団協議会

### (1) 現状

- ・読青協への参加が少ない。
- ・役員体制が弱くなっている。
- ・字青年会への加入者が減少している。
- ・青年会に加入(地域活動)しても次につながらない。(メリットがなく、役員が難儀)

をしている)

- ・青年自らの動きが少ない。(ボランティアの意識が弱い)
- ・エイサーの他の動きがあまり見えない
- ・読青協役員は役場職員が頑張っている。
- ・読青協の「エイサーまつり」は多くの字の青年が参加し、各字青年会、読青協の勢いを感じる。
- ・成人式、読谷まつりの運営に協力している。

## (2) 課題と対策

①会員減、②字・村の役員体制の弱体化、③青年会の存在感の喪失、この3つの課題は青年会の緊急な課題と考える。よって、読青協役員は短期、長期の下記の対策がとれるのではないかと。

- ・役員体制や会の活性化を強化する手だてとしてフォーラムを開く。
- ・フォーラムを基にさらに組織強化につながるイベントを立ち上げる。
- ・読青協の歴代会長に集ってもらい、組織立て直しの指導助言を受ける会を設ける。
- ・村内の各字青年会の体制を把握し、各字の実態に応じた対応策を年次的に取り組む。
- ・地域の伝統芸能の継承や地域活動を実践している青年会から学ぶ。(楚辺青年会、瀬名波青年会等の実践活動を広げる)
- ・弱小青年会は地域の公民館に協力を求め、連携して字青年会を盛り上げる。
- ・エイサー練習時の中高校生参加の際は、規律について各字の区長さんと話し合い、決めたことは確実に実行することによって地域の信頼を得る。
- ・青年自身が地域にとけこみ青少年のリーダーとして公民館活動に関わる。
- ・地元の仕事が少ないのもマイナス要因、青年自ら起業し地元仕事を生み出す。
- ・青年は歴史を学び、平和な地域を創造する気概を持つ。

## 5. 社会教育関係団体の現状と課題

### (1) 組織の現状

#### ①役員が年度毎に替わっている組織

- ・村婦人会、読青協が該当している。
- ・年度ごとに新役員体制が続いている。新役員は新たな気概で活動を推進するが、前年度の事業(活動)を毎年度継続しているのが現状ではないか?
- ・両組織とも戦前から継続している伝統のある組織(婦人会は県内初の結成)であり、その役割と働きは戦後も地域(字)の中心的な存在であった。
- ・青年会はエイサーで組織を維持してきた字もあるが、会員に地元意識が薄れ、エイサーは字外からの応援で人数を維持している字もあり、また、青年会が解散した字もあり、組織の立て直しは急を要する状況にある。
- ・両組織とも会員の減少が続いているのが現状である。

#### ②役員体制が複数年度継続している組織

- ・読子連、読P連が該当している。・・・(読子連会長9年、読P連会長2~3年)
- ・この組織の役員は複数年度継続しており担ってきた執行役員の功績は大きい。両組織とも「我が子の為に」保護者が参加し、①の組織のように会員数減少は深刻では

ないが、生業との兼ね合いで役員のみ手は消極的な面がある。

- ・役員体制が複数年度継続する組織の長所は、役員協力の態勢が強化され、前年度の活動の成果と課題等が活かされ活性化する。(読P連は事業の見直しがされている)
- ・役員が継続する短所は、下部組織が上部組織に依存する。また、活動内容がマンネリ化しやすい。(読子連では同じ事業が続いている、20年度総会で役員空席あり。)

### ③組織の相違

- ・読子連、読青協・・・執行部役員が全活動を推進している。
- ・読P連、村婦人会・・・執行部役員、専門部を設置し連携して事業を推進している。

## (2) 組織の課題と対応

- ①社会全体や会員意識等の変化がみられるが、組織や活動が旧来そのままになっていないか。
- ②読青協、村婦人会の会員減少は大きな課題、組織の社会的存在や役割、これまでの組織活動の総括、会員減の対応等から大局的に組織を見直す必要はないか？
- ③役員体制は複数年度が望ましいが村婦人会、読青協のように年度毎に役員交代を採用するならば、前年度役員は過去の経験から、事業のみの反省でなく組織全体、事業の見直し、社会や会員の意識の変化に対応した組織、特に継続すべき事業、改めるべき事業、新事業創設等々について率直な総括を行い、それが会活動の成果と課題として文書にして引き継がれ、それが新年度で活かされているだろうか？
- ④読子連は役員空席にならぬよう役員態勢づくり。村婦人会は母親や婦人ならではの事業も検討してはどうだろうか。読青協は平成16～19年度まで毎年総括されているが4年間同じ総括を繰り返し全く新年度に活かされていない
- ⑤組織の中に執行部役員他に専門部の有無の差は大きい。読子連、読青協でも設置を検討しては？

## (3) 活動(事業)の現状・・・各組織の事業計画から(マンネリ化していないか?)

- ①読子連・・・平成16～19年度
  - ・データがある4年間、同事業を継続している。
  - ・ジュニアリーダーの育成を推進している。
- ②読P連・・・平成16～19年度
  - ・組織は執行部と専門部が置かれ連携して事業を推進している。
  - ・総務部(研修)、広報(広報誌)、文化(童話・お話)、健全育成(青色回転灯パトロール)と専門部の事業と役割分担している。
  - ・活動内容の転換が見られる。
  - ・平成18年度早寝・早起き・朝ごはん啓蒙活動開始。18年度からは7月と3月の広報誌発行なし。19年青色回転灯パトロール開始する。
- ③村婦人会・・・平成17と19年度
  - ・組織は執行部と専門部が置かれ連携して事業を推進している。
  - ・両年度同じ事業を推進しているが、奇数年度は「演芸のつどい」、偶数年度はスポーツデーを推進している。
- ④読青協・・・平成17～19年度
  - ・3年度とも同じ事業と総括が続いている。



#### (4) 活動(事業)の課題と対応

①読P連は見直し有り、他の3団体は毎年度同じ事業が続いている。

②同じ事が続くと活動が停滞しやすい。毎年度同じ活動内容になる原因は定期総会で事業、決算、予算等の議案審議で終わっていないか? これらの他に新たに短期、長期の目標や団体間の連携した目標設定ができないか?

例えば、組織の運動目標を設定する。(読P連の「早寝・・・」のように)、他団体との共同実践目標(読P連と村婦人会が連携して「早寝・・・」)、拡大して、すべての社会教育関係団体が連携、さらに教育委員会の村全体目標との連携も可能であろう。この村全体の構想ができあがれば各組織も大きな目標に向かって活動の方向性が一層明確になり、会員の意識を高め、組織が活性化できるのではないか? 各組織が短期、長期の目標、あるいは村全体構想を設定し、各組織が連携し継続して取り組めば成果も確認できるようになるのではないか?

また、総会等で年度内の活動(事業)の報告の他に、執行態勢、運動目標等の成果、課題を全体会で審議できるようにすれば全体の財産となり次年度の活動の重点、改善点、単位組織(字)と村全体の連携等も整理できるのではなかろうか?

③読青協と村婦人会にとって会員減は大きな課題である。

子ども会の育成活動、PTA活動は親として「我が子の為に」という直接的な意志が原点となり地域活動につながる。青年、婦人会活動は「地域や団体の為に」という連帯意識が根底に必要であり、活動を経験して自己の向上に気づく違いがある。

従って、前者は自然な形で地域活動まで広がるが、後者は会加入への「動機づけ」、「加入の機会づくり」、「呼びかけ」等の会員増の努力を要する。

④今後の社会はますます良い人間関係づくりが重視されるであろう。未加入会員に青年同志、婦人同志が声を掛けやすい関係づくりが求められている。

⑤会員の減少に対して、組織的に新会員の募集、活動のPRなどが行われているだろうか?

#### (5) 行政の開設講座と地域の組織活動にはそれぞれ特色がある。

##### ①外部講師の講座

- ・受講者の興味、関心、趣味等を広げ、深めることができる。
- ・村内の広範囲の人との出会いがある。
- ・人とのつながり、地域へのつながりは弱い。

##### ②地域の組織活動

- ・組織活動それ自体が人とのつながり、地域の活性化の地域づくりをしている。
- ・地域住民、家族、子ども等にも地域住民・大人・親としての生き方が見える(示す)活動になる。
- ・会活動によって人を知り、地域を知り、視野を広め、人間的にグレードアップできる。組織の執行部を経験することができればその効果は倍加する。
- ・自己の会活動が安全で住みよい、そして、充実した地域づくり、或いは、自分は地域の歴史を作っているという意識、展望をもって取り組める。

※ 最近講師を招聘した講座(カルチャースクール)が流行っているが、講座は活動の一部であり、地域住民参加型(ムラヤー)が主であるのが望ましい。

(この項、20 年度中頭社会教育委員研修会の講演から)

(6) 生涯学習課との連携を密にする。

①生涯学習・社会教育 基本方針のⅢ-3の(4) 読子連・読P連・村婦人会・村青年会の育成強化。とありその取り組み策との連携。

②読谷村生涯学習推進基本計画との連携

・この基本計画は組織や団体に説明会があつていい。

(7) まとめとして、

本村の社会教育団体にはかつての勢い、存在感が薄れた組織もあるが、幸いにも先人、先輩方の努力で今日までこの4つの団体はほとんどの字(自治体)及び村全体の組織として脈々と受け継がれ活動を継続している。

社会教育団体は人を知り、人々を育て、人との良い人間関係づくり、住みよい地域づくりとなる「点から面へ」と人々を結びつける団体である。従って、子どもから大人までいかに多くの村民を社会参加する「動機づけ」ができるか。我々社会教育関係者に課された課題である。そして、特に、これからの本村の地域づくりを担う子ども会、子ども育成会、区青年会及び読青協の育成は最重要課題であろう。

6, その他、社会教育関係団体の活動と関連して、

(1) 自治会未加入世帯の解消

社会教育関係団体は勿論、区公民館、体協、学校等々でも自治会未加入世帯の増加はすべての組織、団体活動のネックになっている。

参考例

例1, 市に住民登録したら、住民の意思を問わず地域の班長さんが自治会費(月、500円)を徴収に来る。(うるま市赤道)

例2, 役所に住民登録に行くと公民館(自治体)登録を先にするように云われる。(宜野湾市)

(2) 案内された来賓の役割と有効活用

組織の会議や活動の場に出席した来賓の方々から、事後の感想や意見を反映させる方法、場があつていい。

(3) 役場の放送で、村教育委員会から児童生徒や家庭、地域向けに帰宅時間、家庭学習時間、基本的な生活習慣等の啓蒙放送ができないか。

(4) 生涯学習課(教育委員会)の目標(目玉、継続して重点的に取り組んでいる事業)が見えにくい。

読谷村社会教育委員

宮平哲雄 當山マキエ 津波古菊江 古波倉正 玉城信人